

あま かわ べ  
天の川辺



双葉中学校通信  
No.18(2024.3.19発行)  
〔文責:澤田隆文〕

教育目標 心を磨き、体技を磨き、夢・志をもって挑戦し続ける自分をめざそう  
～努力を積み重ねる誠実さと情熱、しなやかな心で、可能性は無限大～

目指す生徒像 自分の将来に夢を抱き、自分の力を社会に生かそうとする志をもった双中生

双葉中学校ホームページ  
はこちら



## 115名の卒業生の旅立ち～第77回卒業証書授与式～

令和6年3月12日(火)、第77回卒業証書授与式を挙行政いたしました。

115名の3年生が、義務教育の全課程を修了し、双葉中学校を巣立ちました。

3年生は、伝統あるこの双葉中学校で、一人ひとりが輝くべく、誠実さと情熱をもって努力を積み重ねてきました。全国や近畿、滋賀県大会で活躍した姿はもちろん、仲間と声を合わせた合唱コンクール、全力でバトンをつないだ体育大会など、3年生が活躍する姿は頼もしく、応援する私たちを感動させるものでした。



卒業生は、4月から自分で決めた進路に向かって、新たなスタートを切ることになります。これからの時代を生きる卒業生の皆さんには、大きな夢や目的に照らして、様々な違いを乗り越え、力を合わせ、常に新たな道を探していこうとする力が求められています。新たな一歩を踏み出す皆さんには、自分の可能性を信じ、中学校生活で得た「やればできるんだ。」という経験を忘れず、たゆまぬ努力を続けて欲しいと願っています。



卒業生の皆さん一人ひとりが輝かしい青春を送ってくれるものと期待をしています。



## 1年生ふるさと学習のまとめ 伊吹山でスキー教室

3月1日(金)、1年生ふるさと学習のまとめとして、米原市のふるさとの象徴である伊吹山(グランスノー奥伊吹)でのスキー教室を実施しました。当日は、雪が舞う時間もありましたが、インストラクターの皆さんにもお世話になりながら、経験や体力にあわせて雪に親しみ、ふるさと伊吹の自然の雄大さにふれることができました。

スキー教室の実施前には、「ユウスゲと貴重植物を守り育てる会」会長の高橋滝治郎さんを講師に招き、伊吹山の固有の高山植物を守り育てるための活動や、ニホンジカの繁殖に伴う獣害被害、土砂災害による登山道の被害と登山道の整備活動など、ふるさとを愛する熱意と活動についてお話を伺いました。

霊峰伊吹の再生に尽力されている皆さんの、ふるさとを愛し守り続ける気持ちを聴かせていただき、双中生の皆さんも、あらためてふるさとの自然の大切さに気付くことができましたことと思います。来年度は、米原市内の生徒会が、伊吹山の自然とその保全をテーマに話し合う機会もあるようですので、市内小・中学生が力を合わせ、ふるさとの自然を愛する気持ちを育てていけたらと期待します。



市環境保全課  
「特集 伊吹山の再生」から

## 地域貢献活動について意見交換

### 近江地域民生委員・児童委員さんとともに

2月26日(月)、近江地域民生委員・児童委員さんをお招きし、本校生徒会の皆さんと意見交換会を行いました。

学校と地域が連携するために、日頃から地域で見守りを続けていただいている委員の皆さんに、中学校での生徒会活動や地域貢献活動について報告し、また、これからの地域貢献活動に期待することや中学生の思いなど意見交換しました。

委員の皆さんからは、双中生の地域貢献に感謝の気持ちを聴かせていただくとともに、「地域の人と双中生がふれあう機会を大切にしていきたい」という思いや「地域の人と関わりを持つことで、たくましく生き抜く力を身に付けていって欲しい」という願いを話していただきました。また、「まちづくりには、双中生をはじめ若い世代の元気のよいあいさつが必要です。」と期待する言葉もいただきました。双中生からは、「コロナ禍で地域の地蔵盆などの行事がなくなってさみしい。」など地域の皆さんに期待する意見も出されました。来年度は、双中生の地域貢献活動を「おうみ友愛活動」として盛り上げていきたいと考えておりますので、応援をどうぞよろしくお願いします。

